

追加型投信／内外／株式 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。

# ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド

※当資料は5頁組みとなります。お申し込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ファンドの特色

日本を含む世界各国の環境テクノロジー関連株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

1. 持続可能な成長に欠かせない環境テクノロジーに注目し、今後成長が期待される環境関連企業などに投資します。
2. ラッセルが世界中から厳選した各運用会社が、それぞれの持ち味を活かして運用します。

## 当ファンドのリスク

### 1. 株価変動リスク

株価は国内外の景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受けます。一般に、株価が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### 2. 株式の発行会社の信用リスク

株式の発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### 3. 流動性リスク

当ファンドで短期間に相当金額の解約申込みがあった場合、組入株式を売却することで解約金額の手当てを行いますが、市場規模や市況動向によっては当該売却が市場実勢を下げ、期待される価格で売却できないこともあり、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### 4. 為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### 5. カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因になり、また投資方針に沿った運用ができない可能性があります。

### 6. 市場動向と乖離するリスク

設定時、償還時、大量設定・解約時、市況の大きな変動時などにおいて、当ファンドの基準価額の変動が、市場の変動と大きく乖離する可能性があります。

※上記は当ファンドの基準価額に影響を及ぼす主なリスクであり、リスクは上記に限定されるものではありません。

## <ご換金等に際しての留意点>

■取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があると委託会社が判断したときは、委託会社の判断により、当ファンドのお買付けおよびご換金の申込みの各受付を中止すること、ならびに既に受付けたお買付けおよびご換金の各受付を取消す場合があります。

■ご換金の申込みの受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日のご換金の申込みを撤回できます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受付けたものとして取扱います。

■当ファンドの資金管理を円滑に行うために、大口のご換金について、当ファンドの純資産総額や市場の流動性の状況等によっては、委託会社の判断により、ご換金の金額に制限を設ける場合があります。

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは

# 大和証券

Daiwa Securities

商号等 : 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会: 日本証券業協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会  
社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は

# ラッセル・インベストメント株式会社

商号等 : ラッセル・インベストメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第196号  
加入協会: 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会  
日本証券業協会

# ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド

## 基準価額の推移(設定来)



設定日	2008年5月1日
決算日	毎年3、9月の各10日 (休業日の場合、翌営業日)
信託期間	原則として無期限

基準価額: 7,049 円

純資産総額: 221.63 億円

\* 基準価額は信託報酬(年率1.995%(税込))控除後のものです。

\* 基準価額(分配金再投資)は、収益分配金(税引前)を分配時に当ファンドに再投資したものとみなして修正した価額です。

## 期間別騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
当ファンド	0.0%	3.6%	21.2%	28.3%	-	-29.5%

## 分配金(1万口当たり/税引前)

決算期	第1期	第2期	第3期
決算日	2008.9.10	2009.3.10	2009.9.10
分配金	0円	0円	0円

## 外部委託先運用会社の概要と目標配分割合

	会社名	本拠地	特徴	割合
環境株式の専門家 グローバル株式市場から独自に環境テクノロジー銘柄を選択	ジェネレーション社 (ジェネレーション・インベストメント・マネジメント・エル・エル・ピー)	英国	元米国副大統領アル・ゴア氏が創設。環境ビジネスにおける世界的なリーダー・有識者で構成される諮問委員会がビジネス環境変化を予見し、独自のサステナビリティ調査(持続成長可能企業の調査・発掘)に基づいて世界の株式市場から厳選された銘柄(30~50銘柄程度)に集中的かつ長期的な投資をします。	20%
	インパックス社 (インパックス・アセット・マネジメント・リミテッド)	英国	環境テクノロジービジネス分野の企業リサーチおよび分析に約12年携わっており、この分野におけるパイオニアです。ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準の作成にも協力しています。	30%
グローバル株式の専門家 ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準に沿って銘柄を選択	アローストリート社 (アローストリート・キャピタル・リミテッド・パートナーシップ)	米国	最先端の投資理論を具現化したクオンツ・モデルを駆使した機動的な運用が特徴です。当ファンドでは、主要な環境技術銘柄全体の値動きを享受するために採用しています。	25%
	グローバル・カレンツ社 (グローバル・カレンツ・インベストメント・マネジメント・エル・エル・シー)	米国	ファンダメンタルズ分析からの銘柄調査に定評があります。グローバルSRI運用に実績があり、主要な環境技術銘柄のユニバース全体から割安銘柄を発掘します。当ファンドにおけるポートフォリオ全体の割高化を回避する機能を期待しています。	25%

(注1) 上記の各外部委託先運用会社は当資料の作成基準日現在のものです。外部委託先運用会社は事前の通知なしに随時変更されるため、当資料の作成基準日現在のものと異なることがあります。

(注2) 当ファンド全体の運用効率を高めるためのキャッシュ・エクイタイゼーションや、他の外部委託先運用会社の変更時における資産の移転管理および一時的な運用を行うことを目的として、上記外部委託先運用会社の他に、委託会社の関連会社である「フランク・ラッセル・カンパニー」に対して運用の指図に係る権限を委託しています。

当資料の1頁目に『当ファンドのリスク』ならびに『ご換金等に際しての留意点』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

# ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド

## ポートフォリオの状況

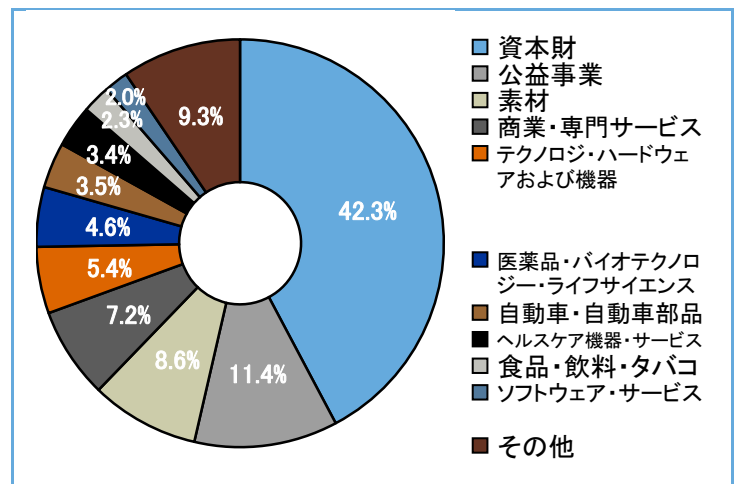
### ◎資産構成

	組入比率
株 式	94.2%
株式先物等	5.2%
現 金 等	0.6%
合 計	100.0%

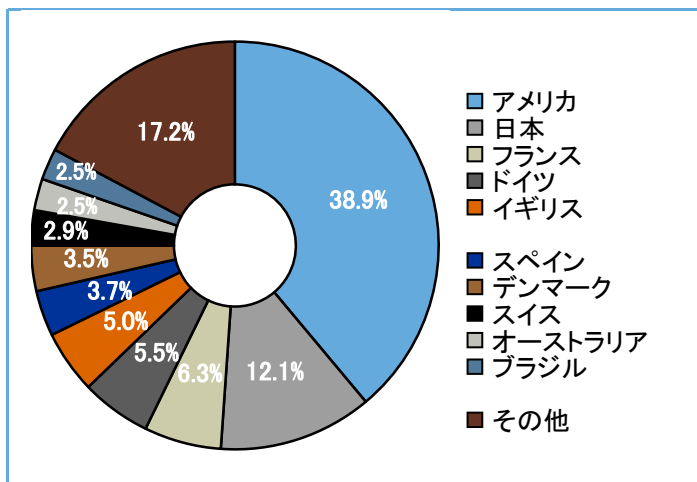
(注)組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。「現金等」には100%から「株式」および「株式先物等」の合計を差し引いた値を記載しています。当ファンドでは、「株式」および「株式先物等」の合計が100%となるよう日々管理しておりますが、株価や為替の変動等により、当該合計が100%を一時的に上回ることがあり、その場合には「現金等」の値がマイナスとなります。

組入銘柄数	225 銘柄
-------	--------

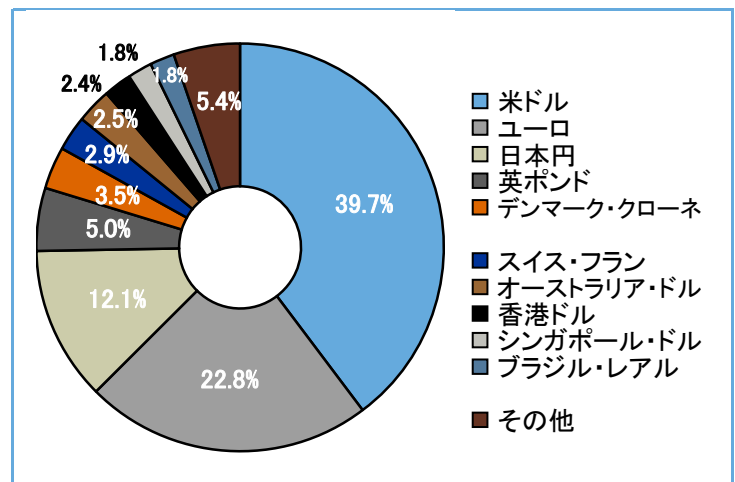
### ◎業種別構成比



### ◎国別構成比



### ◎通貨別構成比



(注)業種別、国別および通貨別の各構成比は当ファンドの保有株式時価総額に対する比率です

### ◎株式上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率	コメント
1	スリーエム	資本財	アメリカ	USD	1.6%	世界的化学・電気素材メーカー。電気・電子分野(主に素材)、消費・オフィス関連、ヘルスケア等、幅広い分野を手掛ける。
2	エマソン・エレクトリック	資本財	アメリカ	USD	1.6%	電気機器、電子製品などを生産する総合電気機器メーカー。エネルギー効率の高い製品を取り扱う。
3	シーメンス	資本財	ドイツ	EUR	1.5%	工業製品および消費者向け製品のメーカー。原子力、水力、風力発電等の電力事業も広範に行う。
4	ベスタス・ウィンド・システムズ	資本財	デンマーク	DKK	1.4%	風力発電のリーディング・カンパニー。風力発電システムの開発、販売、運営管理を行う。風力タービン技術とオンラインによる管理システムに強みを持つ。
5	シュネデルエレクトリック	資本財	フランス	EUR	1.3%	受配電・制御・オートメーションの世界リーダーとして、電力・インフラ設備、一般産業、ビルディング、住宅分野に向けたさまざまなソリューションを提供する。
6	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ	USD	1.2%	各種測定機器、消耗品および化学関連製品を手がける。製品には、水質分析機器、検査機器、ソフトウェア、試薬、化学品などがある。
7	ベオリア・エンバイロメント	公益事業	フランス	EUR	1.2%	水関連事業、廃棄物関連事業、エネルギー管理事業などを手がける公益・公共事業会社。2007年度は環境関連事業が総収益の83%となった。
8	デンソー	自動車・自動車部品	日本	JPY	1.2%	自動車用電装部品の製造を行う。環境負荷の低減を促進するエンジン関連の制御システムや関連製品を主力製品として取り扱っている。
9	フィリップス・エレクトロニクス	資本財	オランダ	EUR	1.1%	医療システム機器、家電用の電子機器製造メーカー。効率性の高い照明機器や省エネルギー機器を製造する。
10	ノボ・ノルディスク	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	デンマーク	DKK	1.1%	医薬品や産業用酵素を製造・販売する医薬調剤メーカー。工場の二酸化炭素排出抑制に取り組む。

(注)組入比率は、当ファンドの保有株式時価総額に対する比率です。

当資料の1頁目に『当ファンドのリスク』ならびに『ご換金等に際しての留意点』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

# ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド

## 市場環境 (2009年10月)

### ◆経済環境

米国では、良好な企業決算が相次いだものの、9月の雇用統計や住宅、消費関連指標の悪化等を受けて景気回復への期待感が後退しました。また、7-9月期の実質GDP(国内総生産)(速報値)が市場予想を上回ったものの、政府の経済対策の影響が大きく、これらが終了した後の景気について懸念が高まりました。ユーロ圏でも、市場予想を下回る経済指標が相次ぎ、景気回復への期待感が後退しました。国内では、大企業製造業DI(業況判断指数)が2期連続で改善し、9月の鉱工業生産指数(速報値)がアジア向け輸出の回復等を受けて7ヵ月連続の上昇となる等、国内景気の回復基調が崩れていないことを示す経済指標が続きました。9月の完全失業率は小幅に改善し、雇用環境は依然厳しいながらも、悪化のペースに歯止めがかかりました。

### ◆市況動向

このような環境下、世界の株式相場は、月前半は、市場予想を上回る企業決算や経済指標等を受けて上昇基調となりました。しかし、月後半には、市場予想を下回る経済指標等を受けて景気回復への期待感が後退し、下落基調となり、最終的に前月末を下回る水準で終わりました。MSCI Worldインデックス(円換算ベース)※は円安のため1.7%上昇しました。なお、為替市場では、円は対米ドルで1.4%の円安、対ユーロで2.9%の円安となりました。テーマ別の相対パフォーマンスは、環境汚染処理、次いで廃棄物処理、エネルギー効率の順となりました。

※MSCI Worldインデックス(円換算ベース)は当ファンドのベンチマークではありませんが、世界の株式相場の値動きを表す参考指標として記載しています。なお、MSCI World(ドルベース)を元に、ラッセル・インベストメントが計算(現地前日の指数(ドルベース)に当日のTTMを乗じて円換算)しています。

## 運用環境 (2009年10月)

◆当ファンドの基準価額は、前月末とほぼ変わらずとなりました。この間に、世界の株式相場の値動きを表す代表的な指標であるMSCI Worldインデックス(円換算ベース)は円安のため1.7%上昇、環境関連株式の値動きを表す代表的な指標であるFTSE ET50インデックス(円換算ベース)は0.2%上昇しました。

◆当ファンドのパフォーマンスへの寄与をテーマ別に見ますと、環境汚染処理のプラス寄与が相対的に大きく、次いで環境マネジメント、廃棄物処理の順となりました。

◆銘柄別では、ガラス加工製品メーカーのシンイ・グラス(中国)や計測機器メーカーのビーコインズツルメンツ(米国)等がプラスに貢献した一方で、太陽光発電メーカーのLDKソーラー(米国)や太陽エネルギー関連機器メーカーのリニューアブル・エナジー(ノルウェー)等が下落し、マイナス要因となりました。

◆運用会社別では、グローバル株式の専門家であり、割安株を中心にクオンツ運用を行うアローストリートが最も高いリターンを上げました。

## 環境関連トピックス

### ◆ CTC、蓄電池と風力の合成出力を安定化 次世代送電網向け

伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)は専用ソフトで風力発電機の出力変動を予測することで、蓄電池と風力との合成出力を安定化するシステムの開発を行います。

システムは、収集した気象データを専用の統計処理ソフトを使って分析することにより、風車設置場所の1日当たりの風量や風力変動を事前に予測し、風力発電機からどの程度電気エネルギーを得られるかを調べます。この予測に基づき、蓄電池の充放電を最適化するように制御プログラムを組みます。CTCは風車設置場所の風力を予測するサービスを手掛けており、ここで培った気象予測ノウハウを専用ソフトの開発に生かしました。

風力発電は気象条件による出力変動が激しいことから、出力を安定化するために、風量が低下した際、エネルギー供給を補完する蓄電池との組合せが検討されています。現在開発が進められているスマートグリッド(次世代送電網)システムは自然エネルギーの出力変動を制御システムが自動感知し、蓄電池が充放電する仕組みですが、大型風車と組み合わせると蓄電池への負荷が高まります。CTCのシステムを活用すれば、高精度で風力発電機の出力変動を予測することで蓄電池への負荷を減らし、安定的なスマートグリッドシステムを構築できます。



(2009年10月28日付日経産業新聞を基にラッセル・インベストメントが作成)

当資料の1頁目に『当ファンドのリスク』ならびに『ご換金等に際しての留意点』を記載しておりますので、必ずご覧ください。

# ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド

※お申し込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お客さまにご負担いただく費用

当ファンドのご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

### ■直接ご負担いただく費用

#### ●お買付時の申込手数料

申込金額に下記の手数料率を乗じて得た額とします。

申込金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口)×申込口数

お買付時の申込金額	手数料率(税込)
1,000万円未満	3.150%
1,000万円以上5億円未満	2.100%
5億円以上10億円未満	1.050%
10億円以上	0.525%

※償還乗換え等の場合には、償還金等の額の範囲内で取得する口数について上記手数料を無料とさせていただきます。

#### ●換金(解約)手数料／ありません。

#### ●信託財産留保額／ありません。

\*当該手数料等の合計額については、当ファンドを保有されている期間等に応じて異なりますので、記載することができません。

### ■保有期間中に間接的にご負担いただく費用

#### ●信託報酬

信託報酬の総額は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、当ファンドの純資産総額に年1.995%(税込)の率を乗じて得た額とします。  
※当ファンドで採用する各外部委託運用会社に対する報酬は、委託会社が受取る信託報酬の中にすべて含まれます。

#### ●諸費用

当ファンドの監査費用、目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用等について、当ファンドの純資産総額の年0.105%(税込)を上限として、信託財産から支払われます。

#### ●その他費用

組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、先物・オプション取引等に要する費用等について、信託財産から支払われます。  
※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を記載することができません。

## お申し込みメモ

#### ●お買付単位

10万円以上1円単位※または10万口以上1口単位

※申込手数料および申込手数料にかかる消費税等相当額を含めて10万円以上1円単位でお申込みいただけます。

#### ●お買付価額

お申込受付日の翌営業日の基準価額

#### ●お買付け・ご換金

お買付けおよびご換金のお申込みの受付は、午後3時(半休日においては午前11時)までとさせていただきます。この時刻を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。なお、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所およびフランクフルト証券取引所のいずれかの休業日に該当する場合には、販売会社の営業日であってもお買付けおよびご換金のお申込みの受付は行いません。

#### ●信託期間

原則として、無期限

※設定日から1年経過後、当ファンドの純資産総額が100億円を下回った場合等には、繰上償還することがあります。

#### ●決算および収益分配

毎決算時(毎年3、9月の各10日、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、基準価額の水準や市況動向等によっては、分配を行わないことがあります。なお、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。  
《分配金再投資コース》  
収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。  
《分配金支払いコース》  
収益分配金は税金を差し引いた後、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。

## 委託会社/その他の関係法人

#### ●委託会社(信託財産の運用指図等を行います。)

ラッセル・インベストメント株式会社

#### ●外部委託先運用会社(委託会社からの権限委託を受け、信託財産の一部の運用指図等を行います。)

当資料の2頁目の「外部委託先運用会社の概要と目標配分割合」をご参照ください。

#### ●受託会社(信託財産の保管・管理等を行います。)

三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

#### ●販売会社(募集の取扱い等を行います。)

大和証券株式会社

■当資料はラッセル・インベストメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドのお買付けの申込みにあたっては、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社でお受取りになり、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。■当資料の中で掲載されている数値・データ等は過去の実績であり、将来の投資成果や市況動向等を保証するものではありません。■当資料の中で掲載されているコメント等は当資料作成時点のものであり、将来の投資成果や市況動向等を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。■当ファンドは、主に日本を含む世界各国の株式など値動きのある証券に投資しますので、組入株式等の価格の下落ならびにそれらの発行会社の財務状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え外貨建資産を投資対象としますので、為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用による損益はすべて投資家の皆さまに帰属します。■当ファンドは、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■金融商品取引業者以外でご購入頂いた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

当資料の1頁目に『当ファンドのリスク』ならびに『ご換金等に際しての留意点』を記載しておりますので、必ずご覧ください。